

何を使う

機器 PC またはタブレット・スマートフォン

ソフトウェア（アプリ）

- YouTube（配信用）
- Prism（動画ファイル変換ソフト）



それをどう使う（それで何ができる）

- 教員が授業の動画を作成し、YouTube で限定配信する。
- 生徒は各自で先生が作成した動画を視聴する。（パスワードにより、本校生徒のみが視聴できるようにしている）
- 生徒が動画教材を学習した上で、教員が対面授業で同じ単元の指導を行うことで、動画が予習、授業が応用的な学習へと変容する。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 商業（原価計算）「総合原価計算」

【 Before 】

- プリント課題による家庭学習
→ わからない箇所があると理解が困難になり、課題が終わらない



【 After 】 **メリット**

- 授業と同様に作成された動画の視聴により、学習ポイントが、より一層わかりやすくなり、より効率的な家庭学習が可能になる。
- 苦手な箇所や難しい箇所を繰り返し視聴できることで、自分のペースで家庭学習を進めることができる。
- 動画視聴が予習となり、授業でより応用的な内容を扱うことができる。
- 学校を欠席しがちな生徒に対して、動画で学習できる機会を提供することにより、理解度がより高まるなど、顕著な学習効果が見られた。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
			○					○	
	・生徒は各自の機器を使用							○	
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		○	1人1台端末		○
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		全教科		
			○		活用が想定される場面		家庭学習・授業導入		